

2022年5月1日

国際メディカル専門学校

2022年度 国際メディカル専門学校概要

1. 建学の精神

国際メディカル専門学校は『高い専門能力を追求しながらも、単に知識・技術教育に偏ることなく、広い視野と豊かな人間性を持った、創造性に満ちた人材の育成の場』であることを教育の基本理念とし、『医療・福祉業界の期待に応え得る開かれた教育機関』であることを趣旨とした、『常に新しく変化していく時代に即した専門学校として、地域、国民、国際社会の保健医療の向上に寄与する』という精神のもとに開学しました。

2. 教育方針・教育目標

国際メディカル専門学校は、現代社会の要請、特に病院・医療機関や介護施設をはじめとする医療福祉業界において求められている人材の育成を目的としています。そのため、実社会で要望され、卒業後すぐに役立つ資格、技能、知識を備えた「スペシャリスト」を育成します。豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成、資格・技能・知識を持つと同時に、社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で、建設的な意志を持った医療技術者を養成します。

3. 沿革

1997年度 新潟工科専門学校（NIT）に臨床工学技士科設置

1998年度 新潟工科専門学校医療福祉工学部（NITM）として校舎移設（現開志学園）

2000年度 医療情報システム部（現医療情報管理学科）設置

2002年度 新潟医療テクノロジー専門学校（N・care）として独立

2004年度 国際メディカル専門学校（ICM）に校名変更 看護学科・鍼灸学科設置

2005年度 鍼灸学科夜間部、診療情報管理士専攻科設置

2013年度 医療事務学科が医療情報管理学科から名称変更する

診療情報管理士学科（3年制）新設

医療事務学科が職業実践専門課程に認定される

2015年度 専門実践教育訓練給付金講座に新規指定される

臨床工学技士科、看護学科、鍼灸学科（昼間）、鍼灸学科（夜間）

2016年度 診療情報管理士学科が職業実践専門課程に認定され、医療事務学科、臨床工学技士科、看護学科、鍼灸学科（昼間）、鍼灸学科（夜間）すべての学科が職業実践専門課程に認定される

2017年度 医療事務総合学科が医療事務学科から名称変更し、調剤薬局・登録販売者コースを設置

2018年度 専門実践教育訓練給付金講座に下記学科が再指定される

臨床工学技士科、看護学科、鍼灸学科（昼間）、鍼灸学科（夜間）

2021年度 医療秘書・医薬品アドバイザー学科が医療事務総合学科から名称変更する

専門実践教育訓練給付金講座に下記学科が再指定される

臨床工学技士科、看護学科、鍼灸学科（昼間）、鍼灸学科（夜間）

2022年度 医療事務学科（1年制）を新設

4. 設置学科（すべて「医療専門課程」）

- (1) 臨床工学技士科／3年制／定員40名 臨床工学技士 取得
- (2) 看護学科／3年制／定員80名 看護師 取得
- (3) 鍼灸学科昼間部／3年制／定員30名 はり師・きゅう師 取得
- (4) 鍼灸学科夜間部／3年制／定員30名 鍼灸師・きゅう師 取得
- (5) 診療情報管理士学科／3年制／定員20名 診療情報管理士、医師事務作業補助 他
- (6) 医療秘書・医薬品アドバイザー学科／2年制／定員10名
診療報酬請求事務能力認定試験、医科医療事務管理士、歯科医療事務管理士、調剤事務管理士、介護事務管理士、登録販売者 他
- (7) 医療事務学科／1年制／定員10名
診療報酬請求事務能力認定試験、医科医療事務管理士 他

5. 教職員

常勤教員 32名 常勤職員 3名 夜間職員 1名 計 36名

非常勤教員数 120名以上

- (1) 大学教授・准教授・講師・助教
新潟大学大学院医歯学総合研究科・新潟大学医学部保健学科・新潟大学医歯学総合病院・日本歯科大学・新潟青陵大学・新潟医療福祉大学・その他大学 等教授、准教授他
- (2) 現役医師（開業医・病院勤務）・看護師・臨床工学技士・鍼灸師・医事課職員
- (3) その他講師

6. 在籍学生数 521名（2022年5月1日現在）

- ・男女比 男子 34.9% : 女子 65.1%
- ・新卒既卒比 新卒 82.1% : 既卒 17.9%
- ・県内外比 県内 75.0% : 県外 25.0%

以上